

第46回日本水環境学会年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)を受賞して

東京大学大学院工学系研究科 Tran Thi Thu Huong

この度は、日本水環境学会年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)を授与いただき、大変光栄に思っております。また、この素晴らしい機会を与えてくださったライオン(株)の皆様、学会関係者の皆様、ポスターを見ていただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

本研究では、昨年の東日本大震災で被害された石巻東部浄化センターにおける応急処理の消毒効果を向上させることを目的にし、ポリ鉄凝集剤を用いた下水簡易処理法の実験的な検討を行いました。製鉄所の廃水であるポリ鉄は、取り扱いやすく、大きなコスト負荷を生じないといったメリットがあります。実験条件は、処理場の現場を配慮した上で、新しい設備を入れる必要なく適用しやすいように設定しました。実験結果、凝集における適当な攪拌条件と凝集剤注入率を採用することで、病原微生物の消毒効果を大きく向上できました。その結果に基づいて、処理場の現場ではポンプ場の前に凝集剤を注入すると工夫し、適当な凝集剤注入率を採用する簡易処理法は、効果的であると考えられました。

今回初めてポスター発表を行い多くの方から様々なコ

メントやアドバイスをいただく中で改めて実感したのは、人は対話することで視野を広げることができ、自分だけでは思いつかない着眼点を見つけられるということでした。これこそが何よりも貴重な経験であったと深く感じました。

また、学部卒で社会人になる私にとっては、卒業する前に研究活動に専念し、そして学会で多くの科学者の方々と接する機会をいただくことは、大変有意義な経験だと思っております。科学世界の入り口までしか行っていないかもしれませんが、そこで見られたことを、社会人になってからも活かしたいと思います。次のステップでは、研究活動を直接行わないですが、研究とビジネスを結べる社会人になりたいと考え、頑張ります。

最後に、本研究を遂行するにあたり、宮城県東部下水道事務所の方々にご協力をいただき、心より感謝いたします。多大なるご指導、ご助言を賜りました東京大学工学部都市工学科の片山浩之先生、古米弘明先生、水環境制御研究室の先生方々、また、ウイルスグループの先輩の方々、東京大学の方々に感謝いたします。